

研究情報の公開について（オプトアウト）

通常、臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明・同意を行い実施します。臨床研究のうち、対象者への侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いるような研究については、国が定めた指針に基づき「対象者一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要とされています。

このような手法を「オプトアウト」と言います。オプトアウトを用いた研究は下記の通りです。なお、研究への協力を希望されない場合は、下記に記載されている研究責任者までお知らせください。

北海道特定不妊治療費助成事業の利用者皆様へ

北海道大学では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (北海道大学農学部倫理審査 倫理審査結果決定通知日)	“北海道における高度不妊治療者の受療行動の解明”に関する研究 (2018年1月15日)
研究責任者(所属) 研究代表者(所属)	小林国治(北海道大学農学研究院 准教授) 加藤博美(北海道大学農学研究院 研究員)
研究分担者(所属)	野口眞貴子(北海道大学保健科学研究院 准教授) 小野洋(日本大学生物資源学部 准教授)
研究協力機関	北海道保健福祉部子ども未来推進局子ども子育て支援課 医療・母子保健グループ
本研究の目的	北海道はその地理的条件から、医療サービスを利用するにあたって、時間的、精神的、身体的、もちろん金銭的負担が多いことが予測されます。これは不妊治療において内在的ストレスとなっているという研究結果もあります。 本研究では実際に治療を受けている方の受療行動を解明することで、よりよい北海道医療への基礎的資料を得ることを目的としています。
調査データ	該当期間 平成年26年4月1日から平成28年3月31日までの3年間
研究の方法	●対象者 該当期間内に北海道特定不妊治療費助成を受けた方 ●利用する情報 ・申請保健所、・夫年齢、・妻年齢、・住居地(市町村名のみ) ・医療機関名、・治療区分、・通算年数、・年度内支給回数 ・通算支給回数
個人情報の取り扱い	研究協力者より提供いただく情報からはすでに氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除済みです。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源(利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先 電話・担当者	011-706-4942 加藤博美(北海道大学農学研究院 研究員)
備考	